

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	地域・青少年教育事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	まなびの支援課	事業名	子ども110番見まもり活動支援事業
事業概要 子ども110番見まもり活動支援				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
各小学校区17,500円以内で見まもり活動に係る消耗品を支給しています。令和2年度は34校に見まもり活動に係る消耗品を支給しました。また、「子ども110番の家」運動協力者に旗及びプレートを配布していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新規参加者の募集活動を縮小しているPTA等の推進団体が多く、コロナ以前より配付数が少なくなっています。 令和2年度 旗 1,602本 プレート 549枚 令和元年度 旗 1,417本 プレート 841枚 平成30年度 旗 2,691本 プレート 1,402枚		決算額(千円)	1,475	
		一般財源の比率(%)	100.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 少ない経費で子供の安全確保に寄与していると考えていますが、見まもり活動を行う各団体にアンケートを行い、今後より有効な支援を実施していきます。
		継続		

2	所管室課	青少年室	事業名	青少年育成事業
事業概要 青少年指導員活動、吹田市成人祭、吹田市子ども会スポーツ大会、吹田青少年野外コンサート、子供文化鑑賞、ヤングフェスティバル、自然体験活動・環境教育推進、山の学校・海の学校				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性と社会性を育むことを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、「吹田市子ども会スポーツ大会」・「吹田青少年野外コンサート」・「子供文化鑑賞(子供劇場)」は中止しました。		決算額(千円)	18,797	
【主な活動実績】 (1)山の学校・海の学校(さわやか元気キャンプ) 不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年を対象に、自然体験活動を通じて生きる力を育むキャンプを実施しましたが、定員を縮小し「海の学校」は開催しましたが、宿泊を伴う「山の学校」は中止しました。 ・参加人数 令和2年度・・・4人、 令和元年度・・・15人、 平成30年度・・・30人 (2)成人祭 新成人を祝い励まし、社会人としての自覚を促す「成人祭」は、3密を避けるため、市立サッカースタジアムを会場として、検温や手指消毒などの感染防止対策を徹底し、開催しました。 ・対象新成人 令和2年度・・・3,880人、 令和元年度・・・4,010人、 平成30年度・・・3,967人		一般財源の比率(%)	100.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 「山の学校・海の学校」については、不登校やひきこもりなどが社会問題となる中、キャンプ参加後のフォローなど、学校と連携した取り組みが必要です。新型コロナウイルスの影響で令和2年度参加人数は減少しましたが、ニーズと実施意義はあるものと考え、実施回数増などを検討しています。改正民法の施行により、令和4年度から成年年齢が18歳となりますが、成人祭は引き続き名称等を変更し、20歳で開催することとしました。
		拡充 山の学校・海の学校実施回数増		

3	所管室課	青少年室	事業名	青少年指導事業
事業概要 吹田市青少年リーダー講習会、吹田市・若狭町子ども会リーダー交流会、吹田市スカウトリーダー養成、青少年指導者講習会、地区青少年健全育成事業への助成、青少年健全育成保険加入等、非行防止・環境整備、青少年問題協議会				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
青少年を地域で見守るとともに、青少年指導者を養成することを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、「青少年リーダー講習会」・「吹田市・若狭町子ども会リーダー交流会」は中止しました。		決算額(千円)	8,126	
【主な活動実績】 (1)地区青少年健全育成事業への助成 地区青少年対策委員会が実施する青少年健全育成事業への助成を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となる行事も多く、その余剰金は市へ返納しました。 ・補助金額 令和2年度・・・7,323千円、 令和元年度・・・14,995千円、 平成30年度・・・15,181千円 (2)全市一斉合同パトロール 大阪府、吹田警察署、青少年指導員会、青少年対策委員会などが連携して、青少年の非行防止の取り組みとしてパトロールを実施しました。 ・参加者数 令和2年度・・・1,160人、 令和元年度・・・3,509人、 平成30年度・・・2,954人		一般財源の比率(%)	100.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 いわゆる「元気な子」を対象としたキャンプを実施している「青少年リーダー講習会」は、本事業の参加者がリーダーとして地域や事業で活躍している実績もあり、一定の成果をあげてきました。自然体験交流センター、自然の家が指定管理者による運営となり、青少年対象の事業も充実していること、近年、民間団体やNPO団体が同様の事業を数多く実施しており、市が積極的に関与する意義は薄れつつあることから、今後、本事業の開催回数を減らしていくことを検討しています。
		縮小又は再構築 青少年リーダー講習会実施回数減		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名